

2026年3月期

Fly to the next stage!

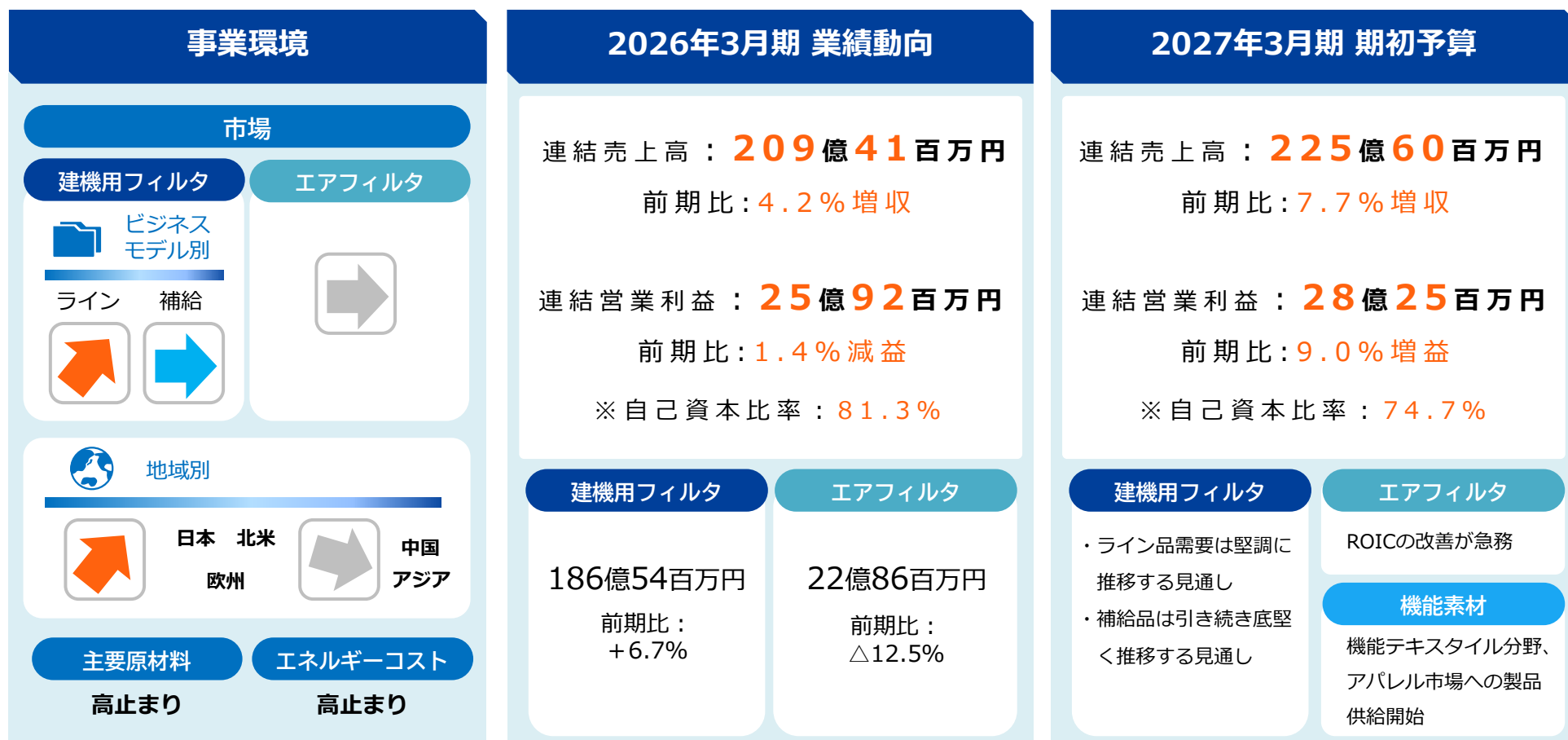
決算説明資料
速報版

ヤマシンフィルタ株式会社
2026年5月15日



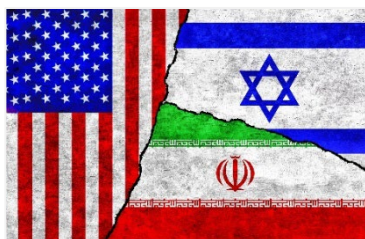
| エグゼクティブサマリー

- ◆ 2026年3月期は創業以来最高水準の売上高、当期純利益を達成
- ◆ 2027年3月期は売上高、営業利益、経常利益、当期純利益全て過去最高を更新の見通し
- ◆ エクイティストーリー「YAMASHIN FILTER VISION 2030」の実現に向け、新規事業確立に向けた体制整備と先行投資を実施、機能素材事業セグメントを立ち上げ



- ◆ 現時点での中東情勢の当社グループへの業績影響は軽微であることから、2027年3月期の業績見通しには織り込まず
- ◆ 米国関税についての業績影響も極めて軽微

建機用フィルタビジネスにおける中東情勢
想定リスク



影響の可能性がある分野

製造/輸送

製造拠点

日本



フィリピン



ベトナム



	想定リスク	対象拠点	影響度	想定影響額	対応策
生産	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原材料価格高騰 ・ 物流費高騰 原材料調達遅延 製品出荷遅延 ・ 工場稼働リスク 	日本 フィリピン ベトナム	小	軽微	サプライチェーン見直し 原材料在庫保有増加 (+1か月分程度) 製品在庫保有増加 (+1か月分程度) 価格転嫁
営業	製品出荷	日本 アメリカ ベルギー タイ 中国	小	軽微	サプライチェーン見直し 製品在庫保有増加 (+1か月分程度)

- ◆ 2026年3月期は、建機用フィルタ事業において中期経営計画が着実に進展した一方、エアフィルタ事業の低調および新規事業の先行投資負担により、MAVY'sはマイナス
- ◆ 非財務情報においては、中期経営計画目標のCDPスコア目標を前倒して達成

財務情報

	2025年 3月期 (実績)	2026年 3月期 (実績)	2028年 3月期 (中計)
MAVY's (%)	0.1	△0.7	2.9
ROIC (%)	8.2	7.2	10.2
WACC (%)	8.1	7.9	7.3

株主還元

	2025年 3月期 (実績)	2026年 3月期 (実績)	2028年 3月期 (中計)
配当金	12円	18円	20円
連結 配当性向 (%)	49.3	73.1	82.9
DOE (%)	3.9	5.5	10.3

非財務情報

2026年2月

CDP気候変動

最上位に位置する

Aスコア

2年連続で取得

2025年6月

ESG 投資指数

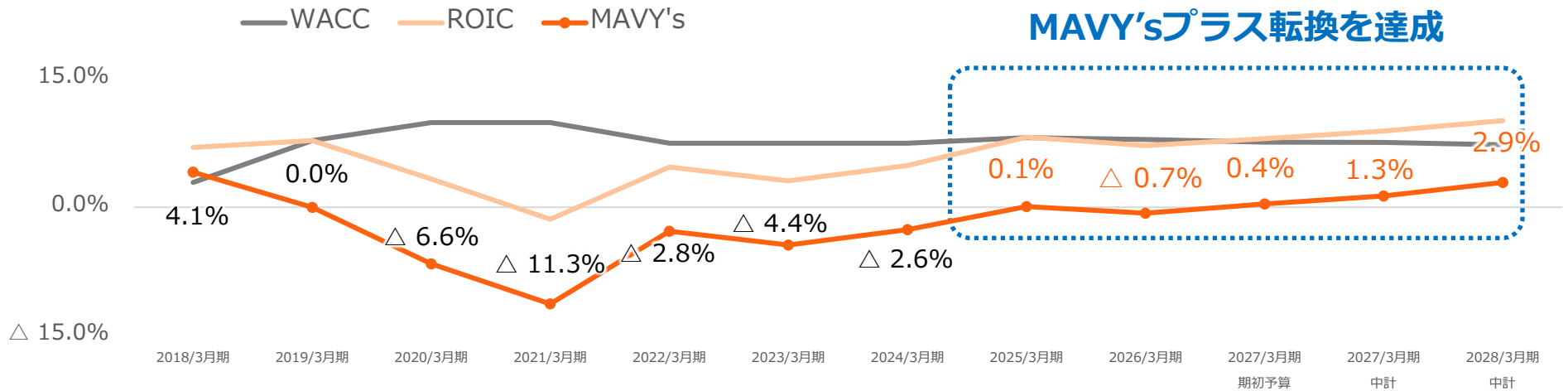
FTSE

FTSE JPX Blossom Japan Index (初選定)
FTSE JPX Blossom Japan Sector Relative Index

総合スコア **3.8** 取得

※ MAVY's = ROIC-WACC

- ◆ 2027年3月期は、中期経営計画の事業戦略の遂行によりMAVY'sをプラス転換
- ◆ 2030年3月期に向け、新規事業の確立により更なるMAVY'sの拡大を実現



	2018/3月期	2019/3月期	2020/3月期	2021/3月期	2022/3月期	2023/3月期	2024/3月期	2025/3月期	2026/3月期	2027/3月期 期初予算	2027/3月期 中計	2028/3月期 中計
MAVY's	4.1%	0.0%	△ 6.6%	△ 11.3%	△ 2.8%	△ 4.4%	△ 2.6%	0.1%	△ 0.7%	0.4%	1.3%	2.9%
ROIC	7.0%	7.8%	3.3%	△ 1.4%	4.7%	3.1%	4.9%	8.2%	7.2%	8.0%	8.9%	10.2%
WACC	2.9%	7.8%	9.9%	9.9%	7.5%	7.5%	7.5%	8.1%	7.9%	7.6%	7.6%	7.3%

※2018/3月期のMAVY's及びWACCについては参考値を記載しております。

| 2026年3月期 第4四半期実績

2026年3月期第4四半期実績（2026/1-3）

PLセグメント別（連結、建機、エア）

- ◆ 建機用フィルタ事業における堅調な新車需要により、営業利益は増益
- ◆ エアフィルタ事業低迷により繰延税金資産を取崩し四半期純利益は減益

		2025/3期	2026/3期	前年同期比	
		Q4 実績	Q4 実績	増減額 (百万円)	増減率
		金額 (百万円)	金額 (百万円)		
売上高		5,158	5,338	179	3.5%
	建機用フィルタ*	4,456	4,746	289	6.5%
	エアフィルタ	702	592	△109	△15.7%
営業利益 (セグメント利益)		579	611	31	5.5%
	建機用フィルタ*	553	619	66	11.9%
	エアフィルタ	26	△8	△34	—
営業利益率		11.2%	11.4%	0.2Pt	
経常利益		571	592	20	3.6%
経常利益率		11.1%	11.1%	0.0Pt	
四半期純利益		493	397	△95	△19.4%
四半期純利益率		9.6%	7.4%	△2.1Pt	
為替レート (円) (期中平均値)	USD	152.6	150.8	△1.8	△1.2%
	EUR	163.8	174.8	11.1	6.7%

※ 「建機用フィルタ」には、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタを含んでおります。

- ◆ 新車需要は堅調に推移し、ライン品の売上高が大きく伸長、補給品需要は前年比反動減も堅調維持

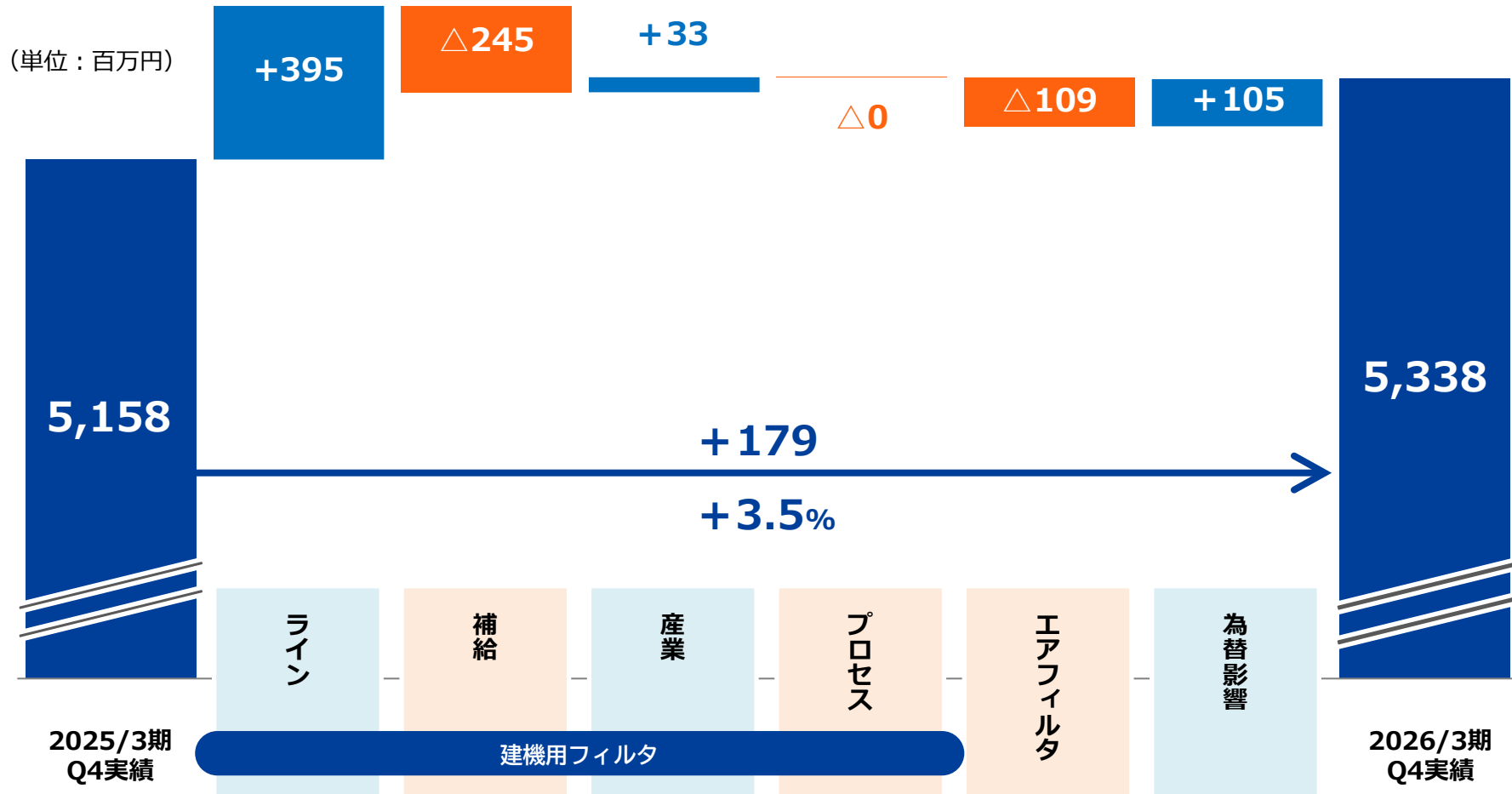
■ 製品別売上高

	2025/3期 Q4 実績	2026/3期 Q4 実績	前年同期比	
	金額（百万円）	金額（百万円）	増減額（百万円）	増減率
建機用フィルタ	4,127	4,379	251	6.1%
ライン品	1,445	1,883	438	30.3%
補給品	2,681	2,495	△186	△6.9%
産業用フィルタ	167	201	34	20.5%
プロセス用フィルタ	162	165	3	2.0%
建機用フィルタ 合計	4,456	4,746	289	6.5%
エアフィルタ	702	592	△109	△15.7%
売上高合計	5,158	5,338	179	3.5%

2026年3月期第4四半期実績（2026/1-3）

売上高増減グラフ（前年同期比）

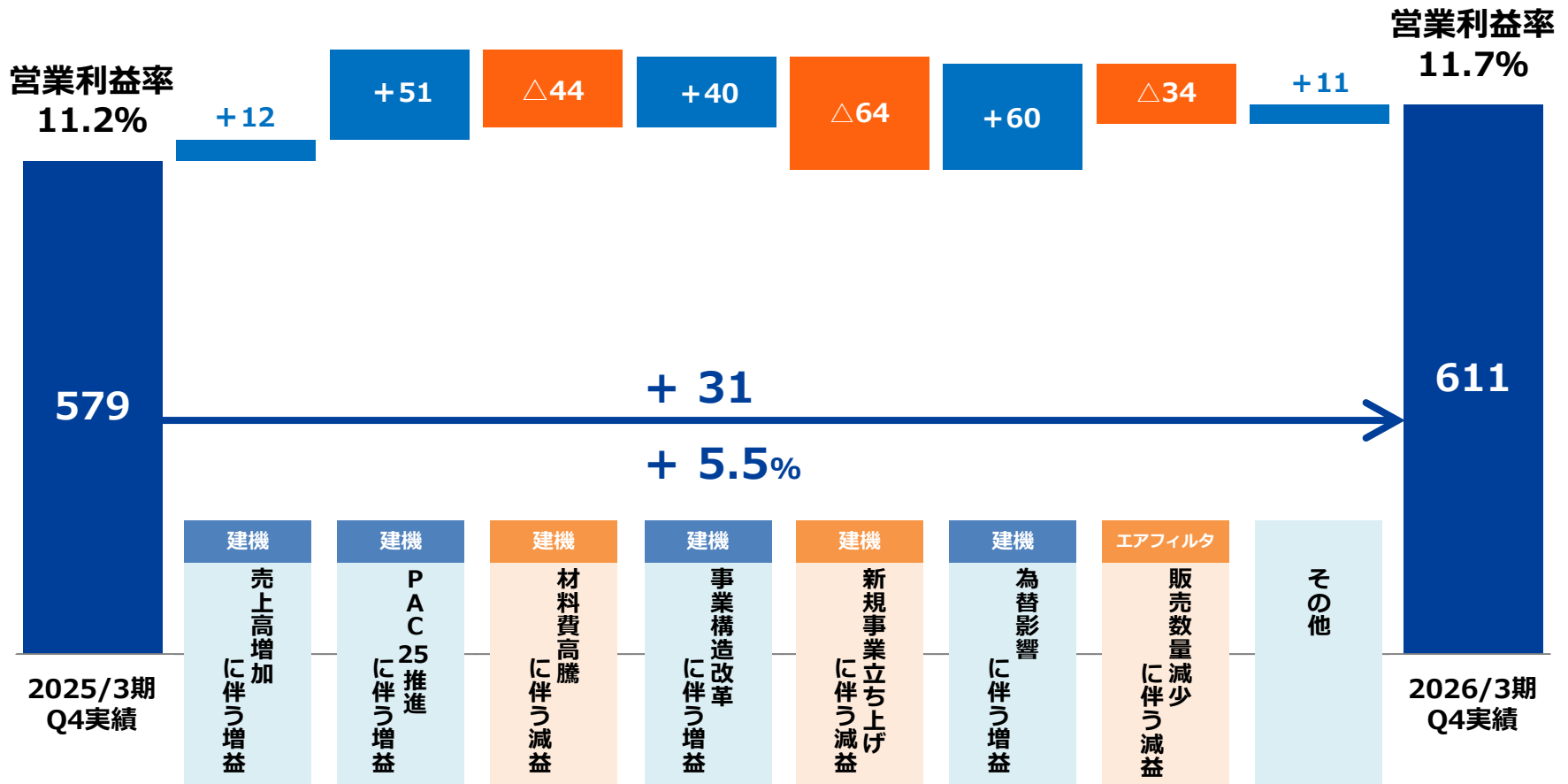
- ◆ 建機用フィルタ事業における新車需要は堅調に推移し、大幅な増収
- ◆ エアフィルタ事業については、基幹システム入れ替えに伴う混乱は収束するも、売上高の回復にはなお時間を要する見込み



営業利益増減グラフ（前年同期比）

- ◆ 主力事業である建機用フィルタ事業の業績は着実に改善、新規事業立ち上げに伴う先行投資およびエアフィルタ事業の業績低調により営業利益の伸長は鈍化

（単位：百万円）



* 2026年3月期第2四半期より、海上運賃の増減については売上高の増加に伴う増益に含めて表示しております。

2026年3月期 通期業績 (2025年4月-2026年3月)

2026年3月期通期実績（2025/4-2026/3）

PLセグメント別（連結、建機、エア）

- ◆ 2026年3月期は計画値を下回るも、創業以来最高水準の売上高、当期純利益を達成
- ◆ 北米市場におけるAIデータセンタ需要増、活発なインフラ投資により事業環境は良好
- ◆ 新規事業立ち上げに伴う先行投資、エアフィルタ事業の業績低調により営業利益は減益

		2025/3期	2026/3期	前期比	
		通期 実績	通期 実績	増減額 (百万円)	増減率
		金額 (百万円)	金額 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率
売上高		20,104	20,941	836	4.2%
	建機用フィルタ*	17,489	18,654	1,164	6.7%
	エアフィルタ	2,615	2,286	△328	△12.5%
営業利益 (セグメント利益)		2,630	2,592	△37	△1.4%
	建機用フィルタ*	2,554	2,713	158	6.2%
	エアフィルタ	75	△120	△196	—
営業利益率		13.1%	12.4%	△0.7Pt	
経常利益		2,669	2,535	△134	△5.0%
経常利益率		13.3%	12.1%	△1.2Pt	
当期純利益		1,723	1,718	△4	△0.3%
当期純利益率		8.6%	8.2%	△0.4Pt	
為替レート (円) (期中平均値)	USD	152.6	150.8	△1.8	△1.2%
	EUR	163.8	174.8	11.1	6.7%

※ 「建機用フィルタ」には、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタを含んでおります。

- ◆ 新車需要堅調によりライン品の売上高が大きく伸長、補給品需要は前年度の反動減も堅調を維持

■ 製品別売上高

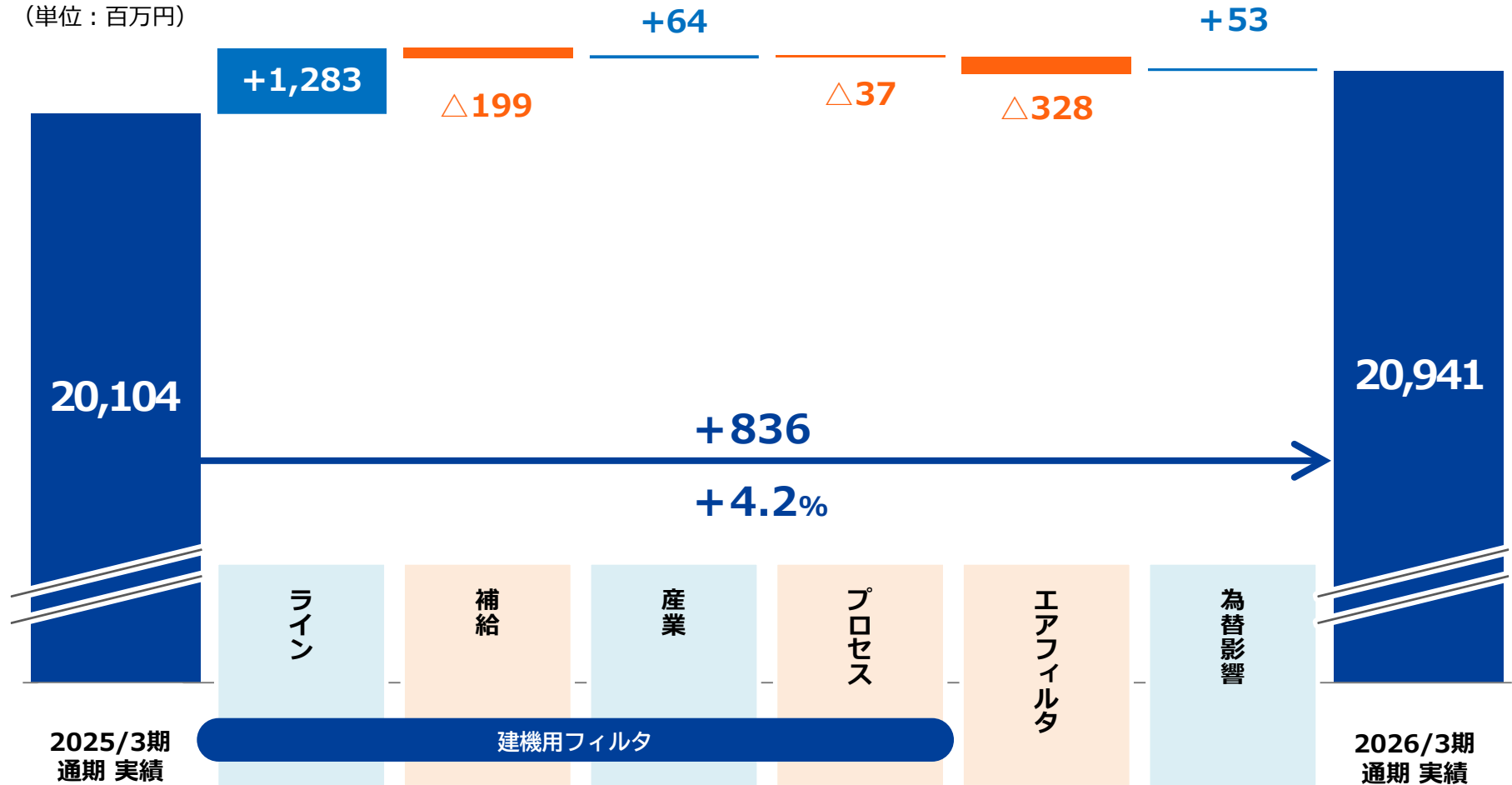
	2025/3期 通期 実績	2026/3期 通期 実績	前年同期比	
	金額（百万円）	金額（百万円）	増減額（百万円）	増減率
建機用フィルタ	16,080	17,210	1,129	7.0%
ライン品	5,599	6,898	1,299	23.2%
補給品	10,481	10,311	△169	△1.6%
産業用フィルタ	708	772	64	9.1%
プロセス用フィルタ	699	670	△28	△4.1%
建機用フィルタ 合計	17,489	18,654	1,164	6.7%
エアフィルタ	2,615	2,286	△328	△12.5%
売上高合計	20,104	20,941	836	4.2%

2026年3月期通期実績（2025/4-2026/3）

売上高増減グラフ（前期比）

- ◆ 建機用フィルタ事業における新車需要の増加に伴い、大幅な増収
- ◆ エアフィルタ事業については、基幹システム入れ替えに伴う混乱は収束するも、売上高の回復にはなお時間を要する見込み

（単位：百万円）

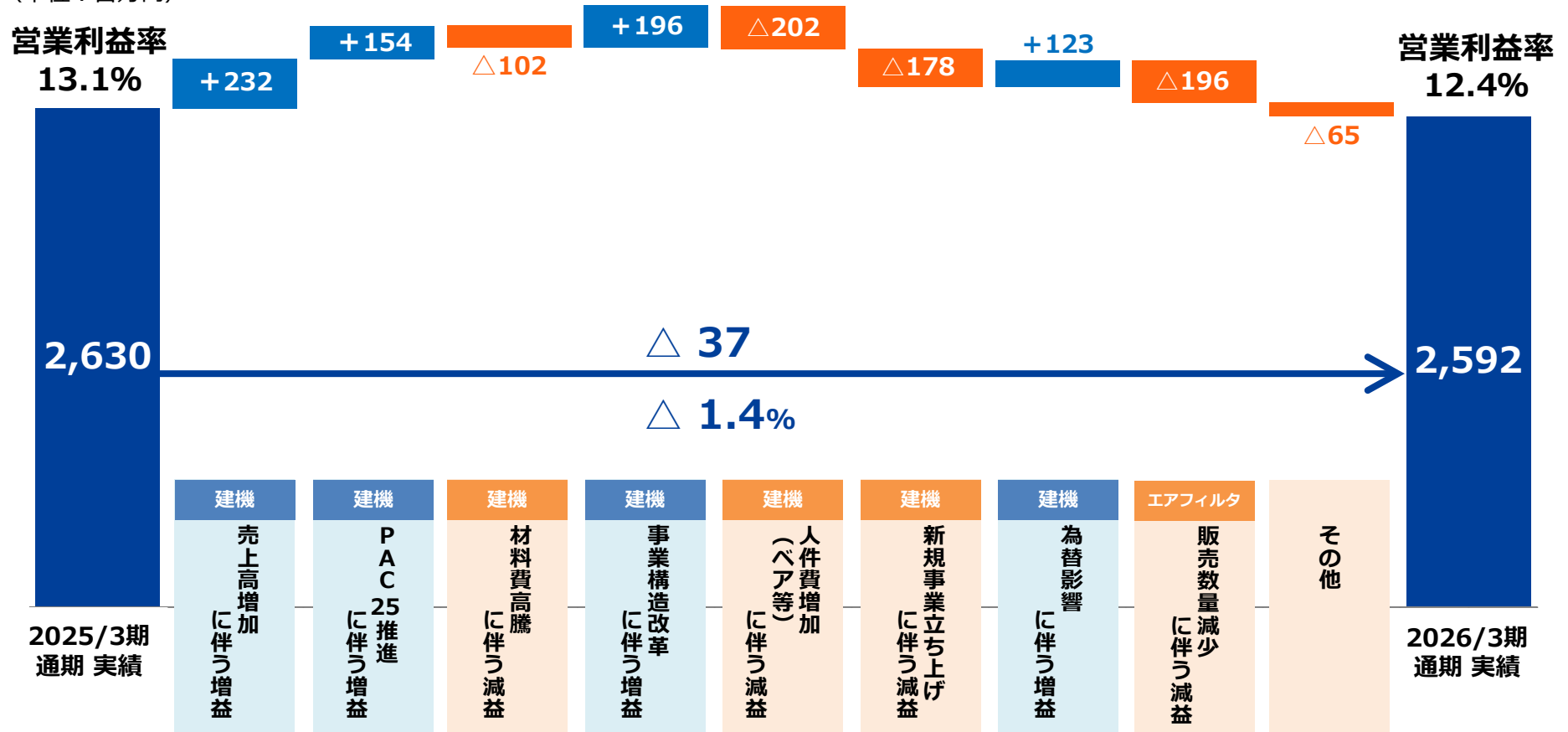


2026年3月期通期実績（2025/4-2026/3）

営業利益増減グラフ（前期比）

- ◆ 主力事業である建機用フィルタ事業の業績は着実に改善も、新規事業立ち上げに伴う先行投資、エアフィルタ事業の業績低調により減益
- ◆ エアフィルタ事業における、基幹システム入れ替えに伴う混乱は収束、需要回復に向けた取り組みを強化

（単位：百万円）



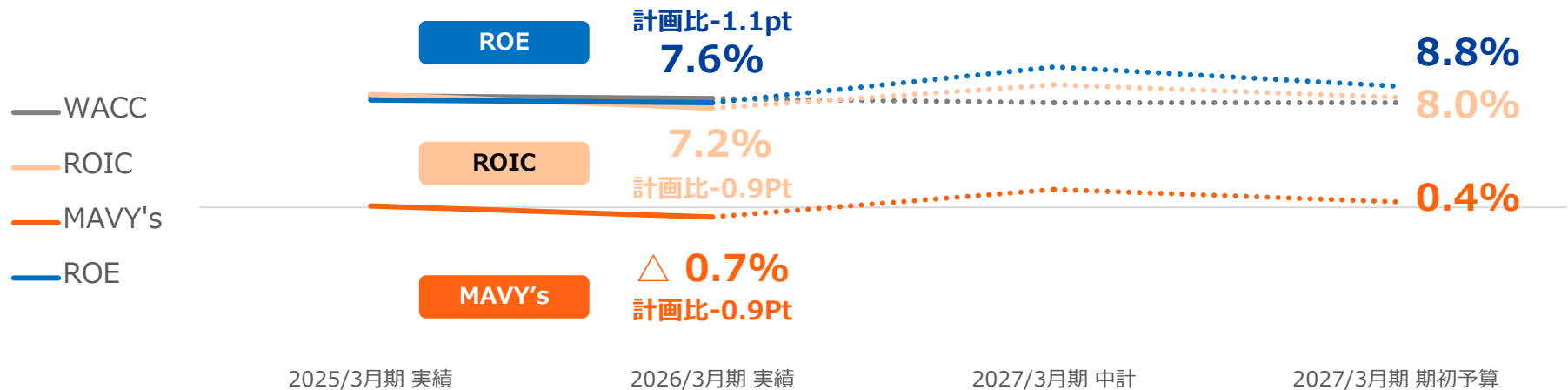
* 2026年3月期第2四半期より、海上運賃の増減については売上高の増加に伴う増益に含めて表示しております。

| 2027年3月期 通期業績見通し

2027年3月期見通し（2026/4-2027/3）

KPI進捗（MAVY's、ROIC、WACC、ROE）

- ◆ 2026年3月期は、建機用フィルタ事業において中期経営計画が着実に進展した一方、エアフィルタ事業の低調および新規事業の先行投資負担により、MAVY'sはマイナス
- ◆ 2027年3月期は、建機用フィルタ事業においては、過去最高の確定受注残高を追い風に更なる収益改善を推進、エアフィルタ事業の収益性改善を最優先課題とし、MAVY'sプラス転換を図る



	2025/3月期	2026/3月期		2027/3月期			
	実績	中計計画値	実績	計画比	中計計画値	期初予算	計画比
MAVY's	0.1%	0.2%	△0.7%	△0.9Pt	1.3%	0.4%	△0.9Pt
ROIC	8.2%	8.1%	7.2%	△0.9Pt	8.9%	8.0%	△1.0Pt
WACC	8.1%	7.9%	7.9%	-	7.6%	7.6%	△0.0Pt
ROE	7.8%	8.6%	7.6%	△1.1Pt	10.2%	8.8%	△1.4Pt

2027年3月期見通し（2026/4-2027/3）

PLセグメント別（連結、建機、エア）

- ◆ 中期経営計画は順調に進展、新規事業立ち上げに伴う先行投資・コスト増を見込むが、創業以来最高の連結業績を更新見通し
- ◆ 北米市場におけるAIデータセンタ需要増、活発なインフラ投資により事業環境は良好
- ◆ 2027年3月期より新規事業を機能素材セグメントとして独立開示

		2025/3期 実績	2026/3期 実績	2027/3期 期初予算	前期比
		金額（百万円）	金額（百万円）	金額（百万円）	増減額（百万円）
売上高		20,104	20,941	22,560	1,618
	建機用フィルタ※	17,489	18,654	20,200	1,545
	エアフィルタ	2,615	2,286	2,330	43
	機能素材	—	—	30	30
営業利益（セグメント利益）		2,630	2,592	2,825	232
	建機用フィルタ※	2,554	2,713	3,190	476
	エアフィルタ	75	△120	5	125
	機能素材	—	—	△370	△370
営業利益率		13.1%	12.4%	12.5%	0.1Pt
経常利益		2,669	2,535	2,775	239
経常利益率		13.3%	12.1%	12.3%	0.2Pt
当期純利益		1,723	1,718	2,005	286
当期純利益率		8.6%	8.2%	8.9%	0.7Pt
為替レート（円） （期中平均値）	USD	152.6	150.8	155.0	—
	EUR	163.8	174.8	180.0	—

※ 「建機用フィルタ」には、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタを含んでおります。

売上高（製品別：前期比）

- ◆ 新車需要の回復、高付加価値製品の供給によるシェア拡大戦略により、ライン品、補給品ともに増収見通し
- ◆ 新規事業である機能素材セグメントにおいては、アパレル分野への製品供給を開始

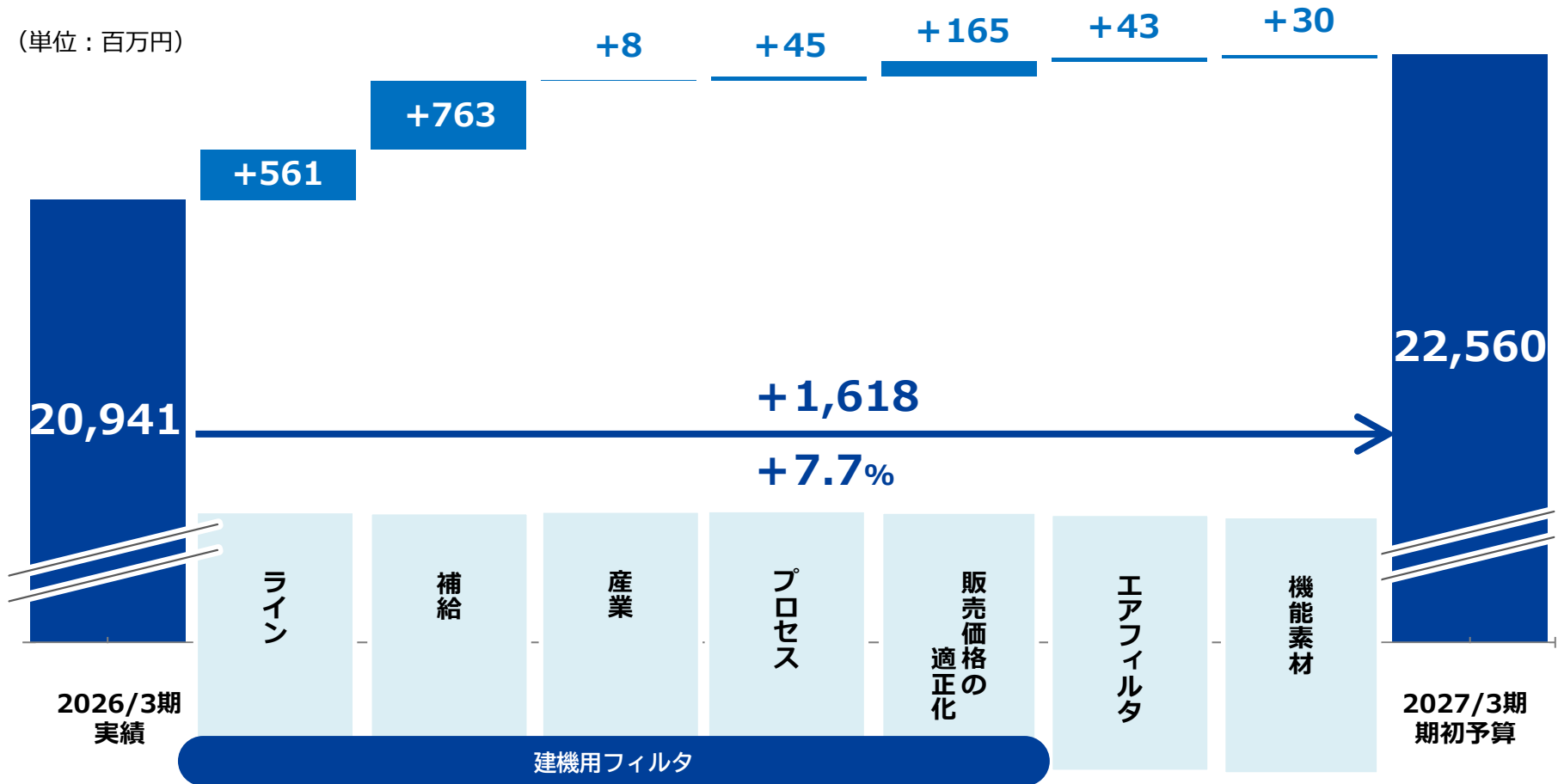
■ 製品別売上高

	2025/3期 実績		2026/3期 実績		2027/3期 期初予算		前期比	
	金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比	増減額 (百万円)	増減率
建機用フィルタ	16,080	80.0%	17,210	82.2%	18,695	82.9%	1,485	8.6%
ライン品	5,599	27.9%	6,898	32.9%	7,429	32.9%	531	7.7%
補給品	10,481	52.1%	10,311	49.2%	11,265	49.9%	953	9.2%
産業用フィルタ	708	3.5%	772	3.7%	781	3.5%	8	1.1%
プロセス用フィルタ	699	3.5%	670	3.2%	722	3.2%	51	7.7%
建機用フィルタ 合計	17,489	87.0%	18,654	89.1%	20,200	89.5%	1,545	8.3%
エアフィルタ	2,615	13.0%	2,286	10.9%	2,330	10.3%	43	1.9%
機能素材	—	—	—	—	30	0.1%	30	—
売上高合計	20,104	100.0%	20,941	100.0%	22,560	100.0%	1,618	7.7%

売上高増減グラフ（前期比）

- ◆ 建機用フィルタ事業における新車需要回復や高付加価値製品の供給によるシェア拡大戦略により、ライン品は増収、補給品も北米中心に増加する見通し
- ◆ エアフィルタ事業においては、基幹システム入れ替えに伴う出荷遅延の影響は沈静化、新規直販体制の強化による収益性の改善を図る

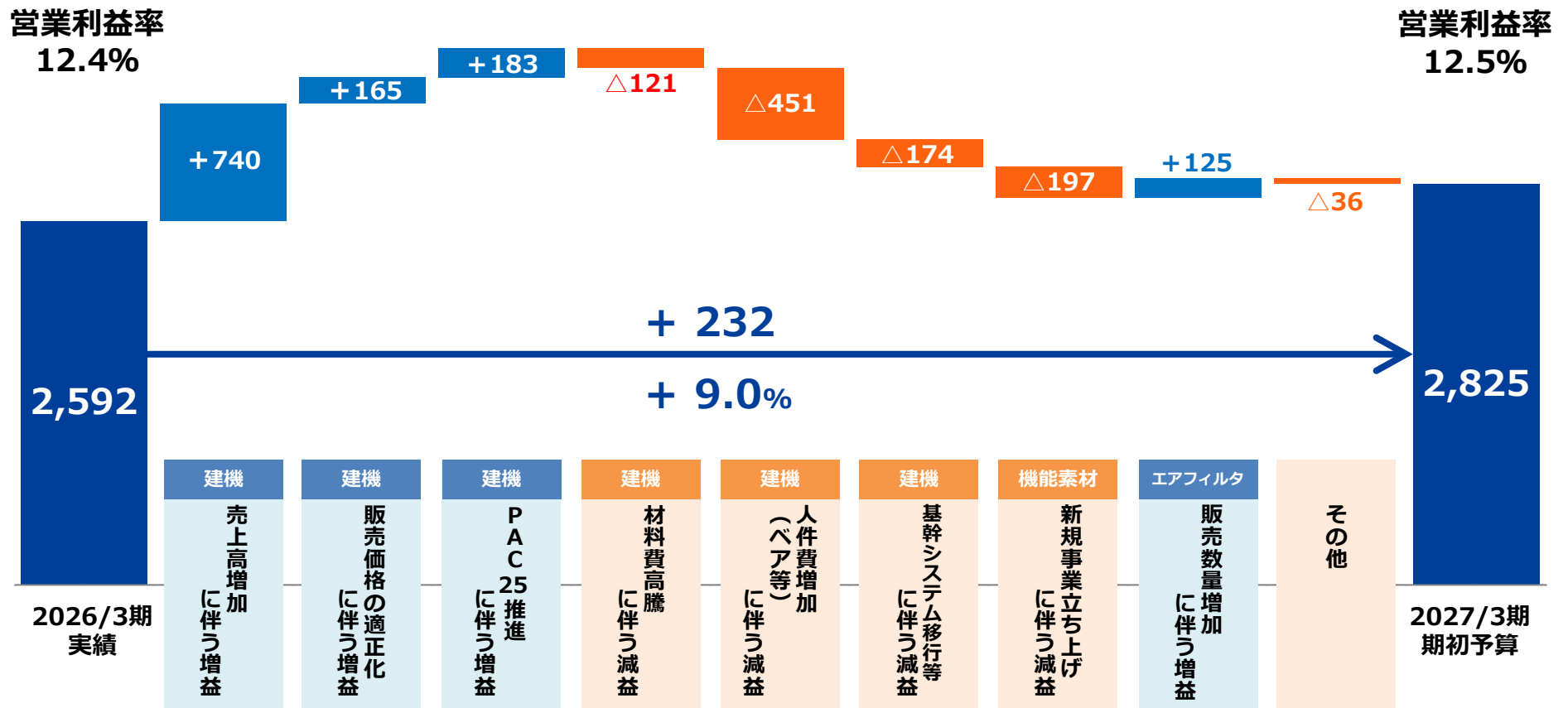
（単位：百万円）



営業利益増減グラフ（実績比）

- ◆ 新規事業立ち上げに伴う先行投資・コスト増を販売数量の増加、原価低減によりカバーし、創業以来最高の連結業績を更新見通し

（単位：百万円）



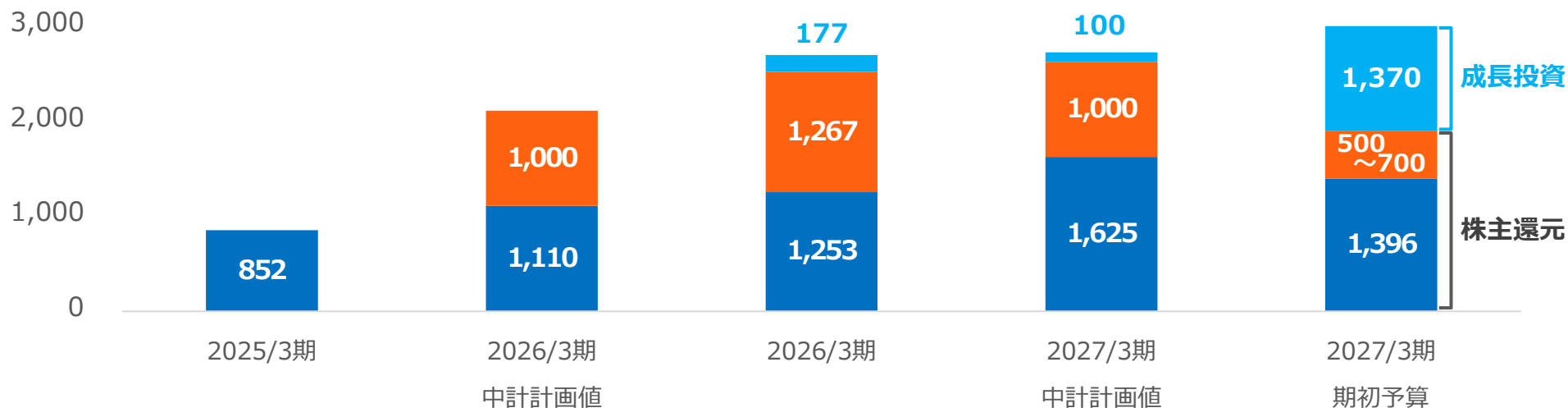
* 2026年3月期第2四半期より、海上運賃の増減については売上高の増加に伴う増益に含めて表示しております。

株主還元（配当金、DOE、配当性向、総還元性向）

- ◆ 成長投資と株主還元のバランスを両立させた配当政策を実施
- ◆ 2027年3月期は配当方針を見直し、資本を成長投資へ重点配分することで新規事業の確立を加速。これに伴いDOEは中計目標を一時的に下回る水準

(単位：百万円)

■ 配当金額 ■ 自己株式取得 ■ 成長投資



	2025/3期 実績	2026/3期 中計計画値	2026/3期 実績	2027/3期 中計計画値	2027/3期 期初予算
1株当たり 年間配当金	12.0円	—	18.0円	—	20.0円
総還元性向*	52.9%	113.5%	150.1%	119.3%	97.5%
DOE	3.9%	5.0%	5.5%	7.4%	6.1%

※ 総還元性向 = {(配当金総額 + 株主優待 + 自己株式取得) ÷ 親会社株主に帰属する当期純利益} × 100

| 2027年3月期 非財務情報

◆ CDP気候変動部門において、2年連続最高評価「Aリスト企業」認定を獲得



YAMASHIN FILTER VISION 2030 の進捗 – 機能素材事業（5月15日開示内容の補足）

— ライフサイエンス分野、産業資材分野

- ◆ ライフサイエンス、産業資材分野において産学連携、他社とのアライアンスが進展
- ◆ 大学や研究機関等との共同研究により素材開発を深化させ、業務提携により販路の拡大、社会実装を加速

川上

基礎研究

応用研究

上市（実用化）

川下

産学連携の強化



大学や研究機関等との共同研究開発及び量産体制の整備が進行中

共同研究の実施



繊維・材料分野における基礎研究に強み



量産化技術に強み

2026年5月26日
記者会見にて発表予定

産業資材



開発開始：
ドローンの安全飛行と飛行距離を両立させる素材開発

アライアンスの実施（少額出資・研究開発支援）

ソフト面

MITSUFUJI
ソフトウェア開発・販路に強み



ハード面

The Specialist in Filtration
YAMASHIN
素材開発分野に強み

ライフサイエンス・産業資材分野におけるセンサービジネスの進化を目指すべく戦略的提携を実施

想定する開発分野

- ・ パッチ電極開発
- ・ スポーツ用高精度センサー
- ・ 圧電・ガス検知センサー
- ・ 電磁波シールド

2026年7月中
発表予定

参考資料

–2026年3月期 決算にかかる補足情報

MAVY

企業価値向上に向けた定量目標として財務情報、非財務情報、株主還元情報を区分しKPIとして設定

財務

非財務

株主還元情報

稼ぐ力

ROIC

資本調達
コスト
WACC

企業価値

MAVY's

投下した資本に対する
収益率

ROICが高いほど
効率的に資本を活用し収益を生み出している

コストを上回る価値
を生み出しているか

+の値であれば、
資本調達コストを上回る価値を生み出している

「仕濾過事」を具現化し、新たなステージへ

建機用フィルタ

- 多様なアプローチによるシェア拡大
- 高付加価値製品の導入
- アフターマーケット活動の進化

エアフィルタ

- 既存商流の強化
- 直販体制の強化
- ろ材の拡販



企業価値を向上させる MAVY's経営の実践

財務情報 KPI (2028/3期)

- MAVY's (独自指標) **2%**以上
- ROIC **10%**以上
- WACC **7.3%**

株主還元 KPI (2028/3期)

- DOE **10%**
- 配当性向 **80%**

サステナブルな社会の実現 を目指したESG経営

非財務情報 KPI (2028/3期)

- ESG 投資指数
- FTSEスコア **4.0**以上
 - CDP気候変動 スコア **A**取得

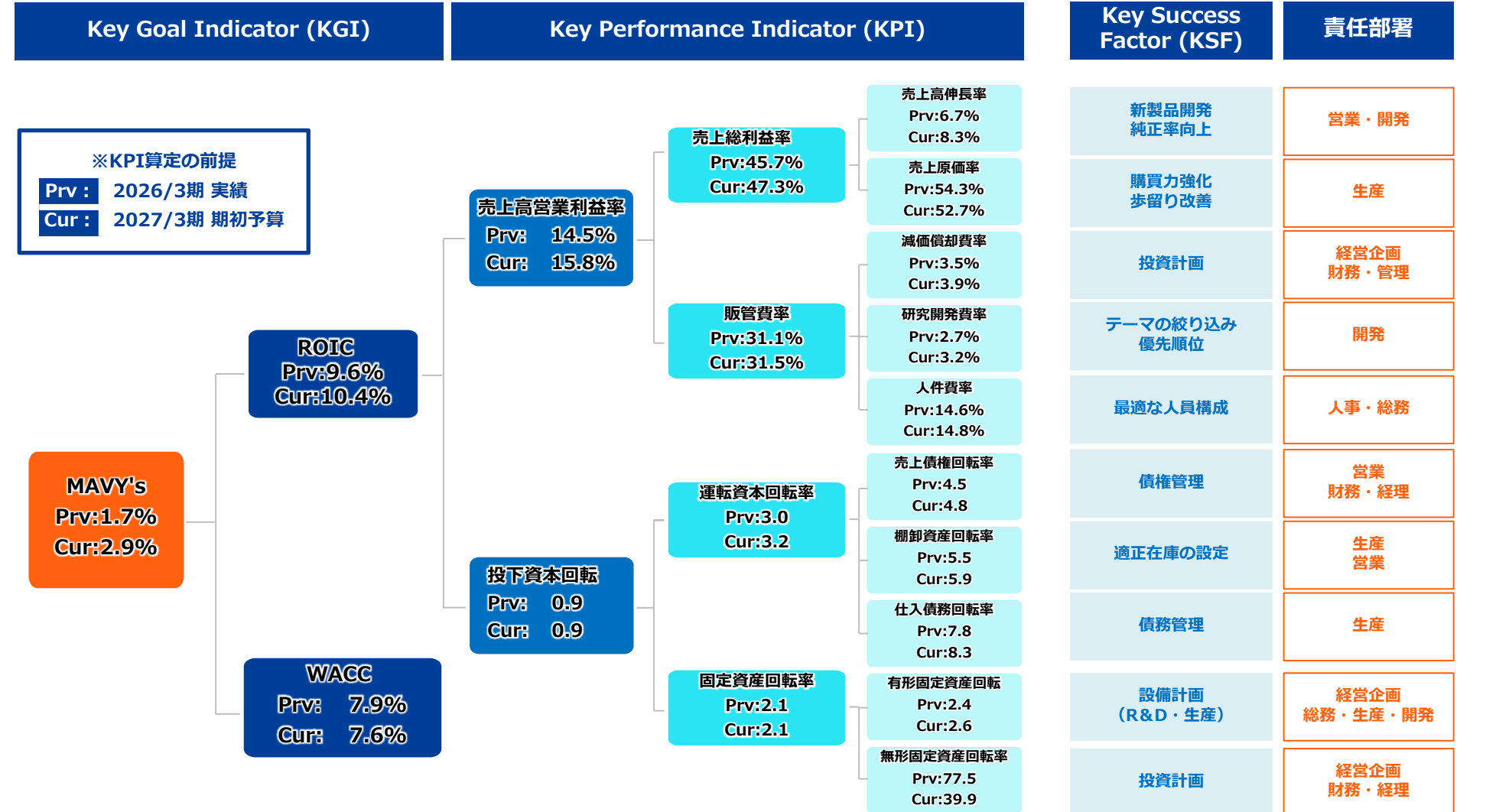
セグメント別 KPI進捗（MAVY's、ROIC、ROE、WACC）

- ◆ 2026年3月期は、建機用フィルタ事業において中期経営計画が着実に進展した一方、エアフィルタ事業の低調および新規事業の先行投資負担により、MAVY'sはマイナス
- ◆ 2027年3月期は、建機用フィルタ事業における、更なる成長とエアフィルタ事業の収益性改善を最優先課題とし、MAVY'sプラス転換を図る

		2025/3期 実績	2026/3期 中計	2026/3期 実績	2027/3期 中計	2027/3期 期初予算
MAVY's		0.1%	0.2%	△0.7%	1.3%	0.4%
ROIC		8.2%	8.1%	7.2%	8.9%	8.0%
WACC		8.1%	7.9%	7.9%	7.6%	7.6%
ROE		7.8%	8.6%	7.6%	10.2%	8.8%
建機用 フィルタ	MAVY's	2.0%	1.5%	1.7%	2.6%	2.9%
	ROIC	10.2%	9.4%	9.6%	10.2%	10.4%
	WACC	8.1%	7.9%	7.9%	7.6%	7.6%
エアフィルタ	MAVY's	△8.3%	△5.8%	△13.3%	△5.1%	△7.3%
	ROIC	△0.2%	2.1%	△5.4%	2.5%	0.3%
	WACC	8.1%	7.9%	7.9%	7.6%	7.6%

目指すべき定量目標（建機用フィルタ）

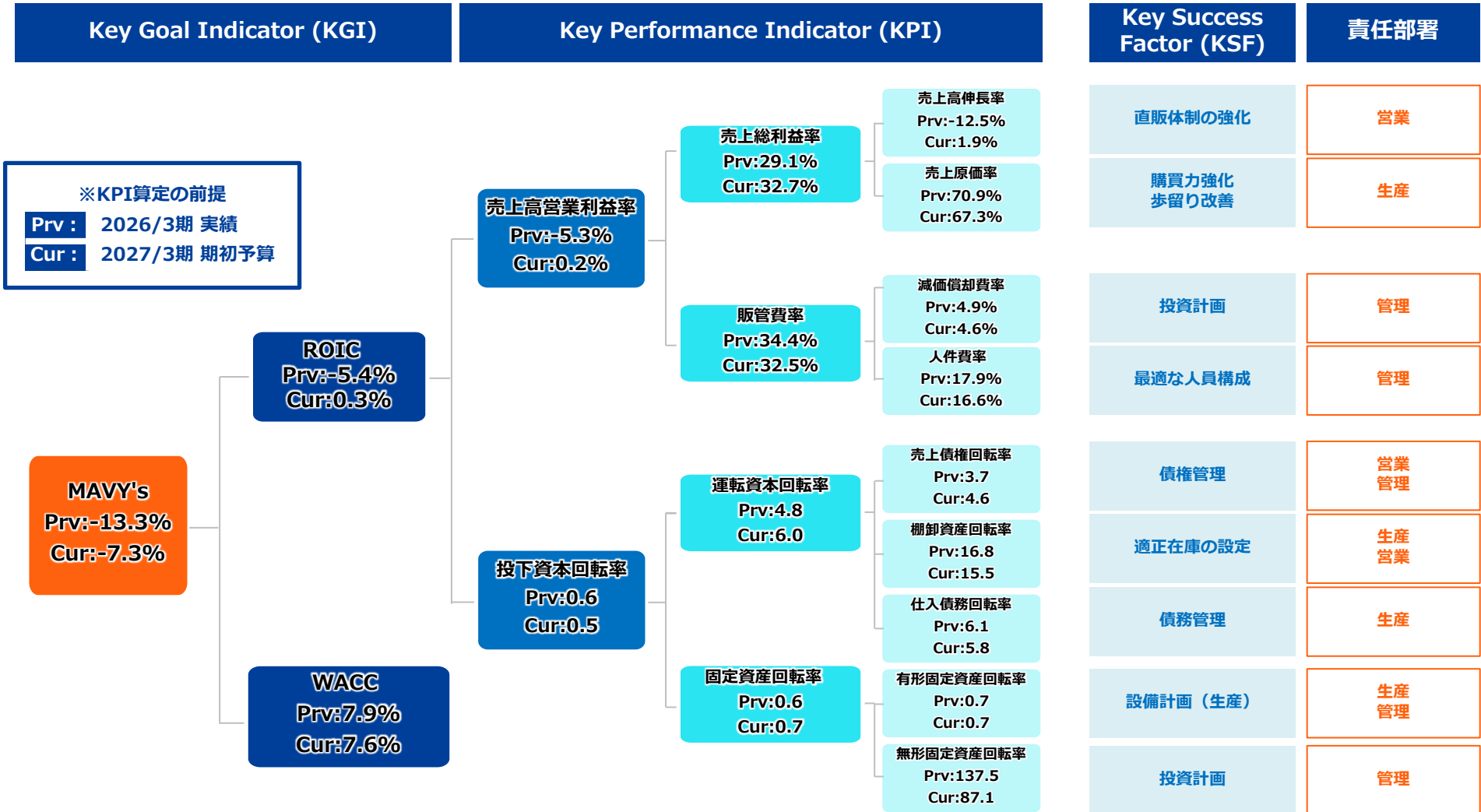
1 3軸によるシェア拡大（顧客軸・技術軸・地域軸） 2 高付加価値製品 3 アフターマーケット市場の進化



目指すべき定量目標 (エアフィルタ)

1 新商流の開拓 (BtoB)

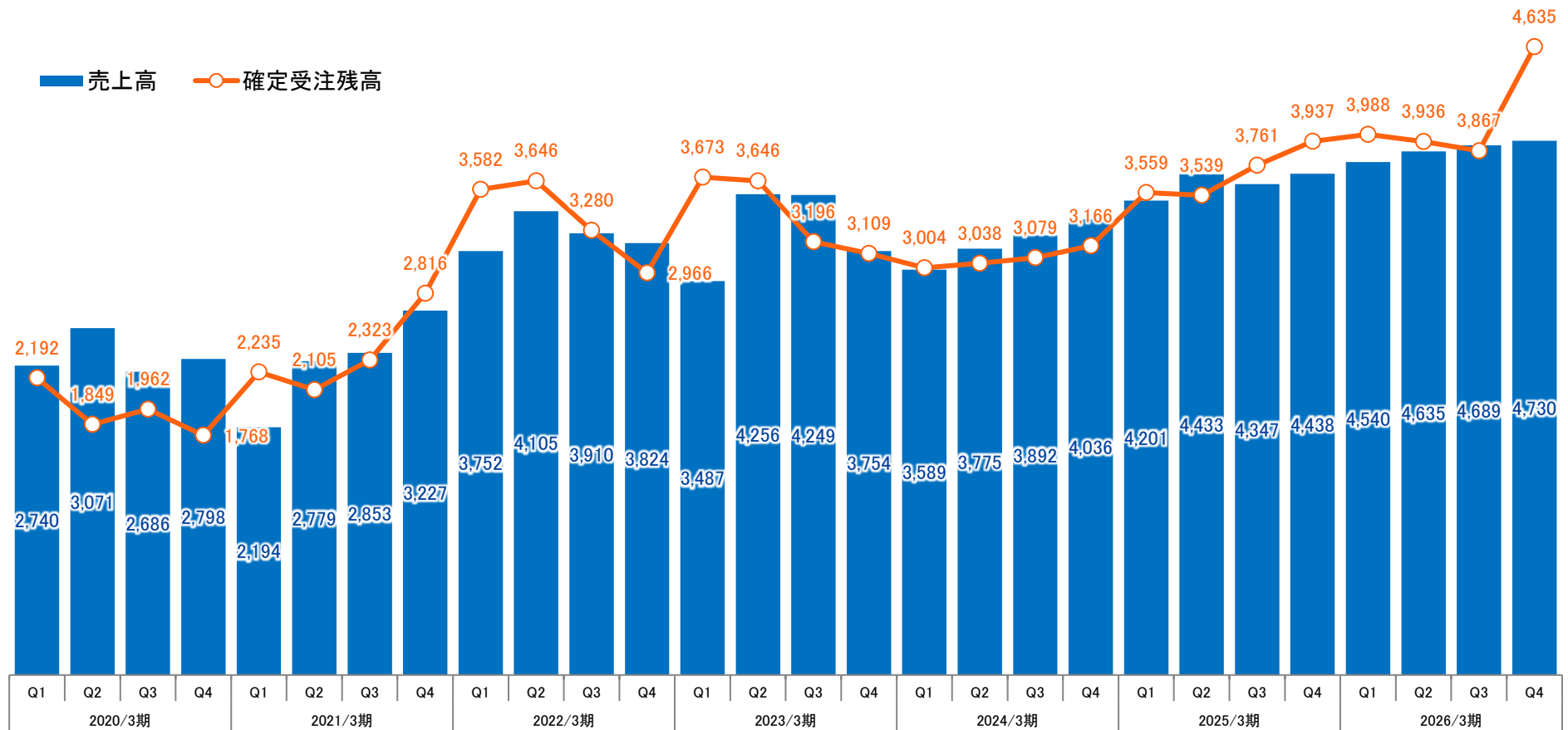
2 高付加価値製品 (PFAS・PFOSフリー、CO2、消費電力削減)



確定受注残高と売上高の推移 (建機用フィルタビジネス)

- ◆ 北米市場でのシェア拡大、東南アジア市場における在庫調整の反動増により、2026年3月期第4四半期の確定受注残は過去最高水準を更新

(単位：百万円)



※ 売上高にはヘルスケア売上を含めておりません。

- ◆ 欧州、東南アジア地域での一時的な需要減退がみられるも、新車需要の増加により全地域で増収

■ 地域別売上高

	2025/3期 Q4 実績		2026/3期 Q4 実績		前年同期比	
	金額（百万円）	構成比	金額（百万円）	構成比	増減額（百万円）	増減率
建機用フィルタ*	4,456	86.4%	4,746	88.9%	289	6.5%
国内	1,683	32.6%	1,720	32.2%	37	2.2%
北米・南米	1,274	24.7%	1,460	27.4%	186	14.6%
中国	351	6.8%	387	7.3%	35	10.2%
アジア	605	11.7%	609	11.4%	4	0.7%
欧州	541	10.5%	542	10.2%	0	0.1%
その他（中東他）	—	—	25	0.5%	25	—
エアフィルタ（国内）	702	13.6%	592	11.1%	△109	△15.7%
売上高合計	5,158	100.0%	5,338	100.0%	179	3.5%

※ 「建機用フィルタ」には、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタを含んでおります。

* 上記の地域別の数値は請求書送付先基準で集計しております。

* 従来「その他」に区分されていた南米に「北米」を加え「北米・南米」として集計しております。

売上高（地域別）

- ◆ 北米市場におけるAIデータセンタ需要増、活発なインフラ投資を中心に、各市場における需要は堅調に推移

■ 地域別売上高

	2025/3期 通期 実績		2026/3期 通期 実績		前期比	
	金額（百万円）	構成比	金額（百万円）	構成比	増減額（百万円）	増減率
建機用フィルタ*	17,489	87.0%	18,654	89.1%	1,164	6.7%
国内	6,900	34.3%	7,027	33.6%	126	1.8%
北米・南米	4,597	22.9%	5,014	23.9%	416	9.1%
中国	1,246	6.2%	1,667	8.0%	420	33.7%
アジア	2,670	13.3%	2,906	13.9%	236	8.8%
欧州	2,073	10.3%	1,937	9.3%	△136	△6.6%
その他（中東他）	—	—	100	0.5%	100	—
エアフィルタ（国内）	2,615	13.0%	2,286	10.9%	△328	△12.5%
売上高合計	20,104	100.0%	20,941	100.0%	836	4.2%

※ 「建機用フィルタ」には、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタを含んでおります。

* 上記の地域別の数値は請求書送付先基準で集計しております。

* 従来「その他」に区分されていた南米に「北米」を加え「北米・南米」として集計しております。

- ◆ 北米市場におけるAIデータセンタ需要増、活発なインフラ投資を中心に、各市場における需要は堅調に推移する見通し

■ 地域別売上高

	2025/3期 実績		2026/3期 実績		2027/3期 期初予算		前期比	
	金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比	増減額 (百万円)	増減率
建機用フィルタ*	17,489	87.0%	18,654	89.1%	20,200	89.5%	1,545	8.3%
国内	6,900	34.3%	7,027	33.6%	7,335	32.5%	308	4.4%
北米・南米	4,597	22.9%	5,014	23.9%	5,652	25.1%	637	12.7%
中国	1,246	6.2%	1,667	8.0%	2,184	9.7%	516	31.0%
アジア	2,670	13.3%	2,906	13.9%	2,992	13.3%	85	2.9%
欧州	2,073	10.3%	1,937	9.3%	1,946	8.6%	8	0.4%
その他（中東他）	—	—	100	0.5%	89	0.4%	△11	△11.2%
エアフィルタ（国内）	2,615	13.0%	2,286	10.9%	2,330	10.3%	43	1.9%
機能素材（国内）	—	—	—	—	30	0.1%	30	—
売上高合計	20,104	100.0%	20,941	100.0%	22,560	100.0%	1,618	7.7%

※ 「建機用フィルタ」には、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタを含んでおります。

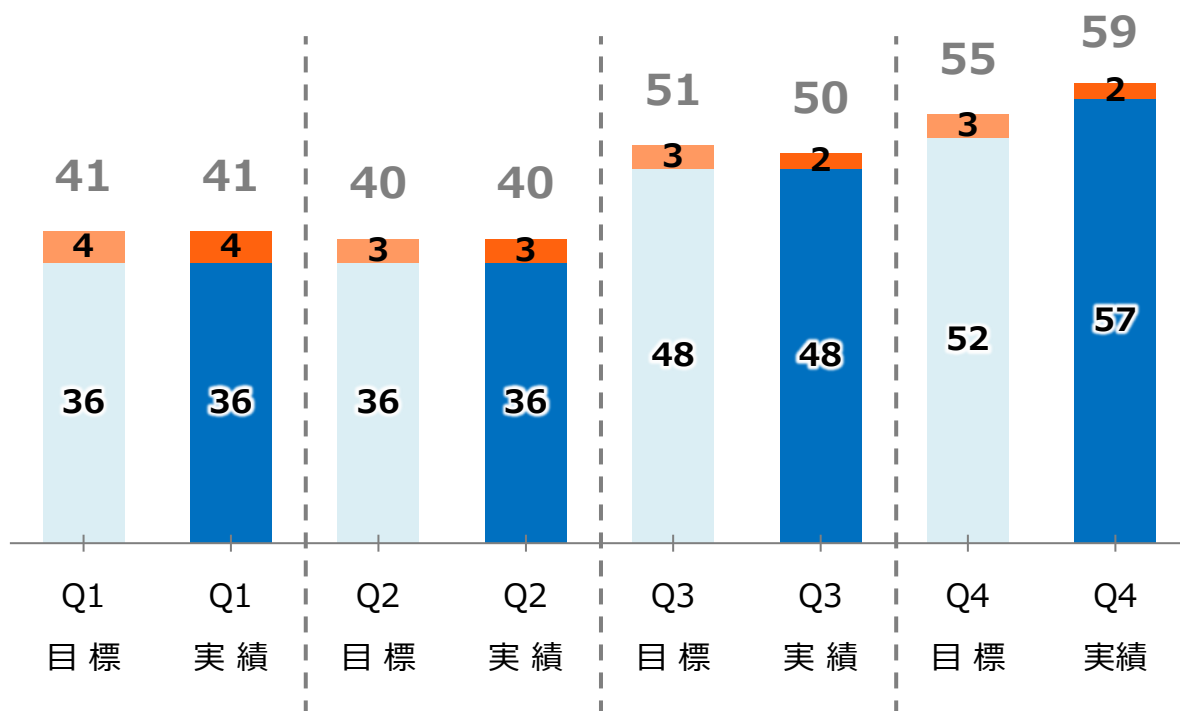
* 上記の地域別の数値は請求書送付先基準で集計しております。

* 従来「その他」に区分されていた南米に「北米」を加え「北米・南米」として集計しております。

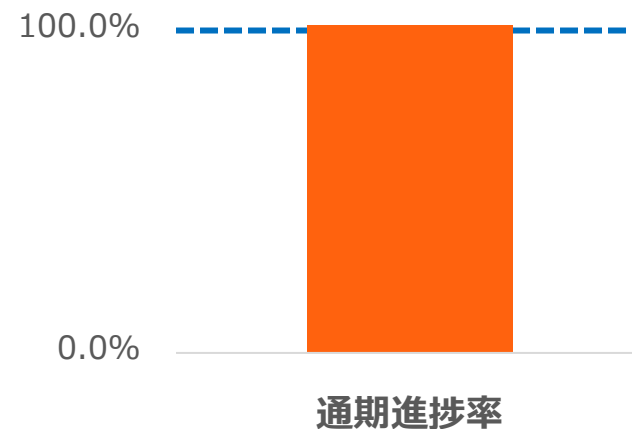
◆ PAC25の取組みは着実に進展

■ 進捗状況 (前期比) (単位:百万円)

■ 製造原価 ■ 販管費

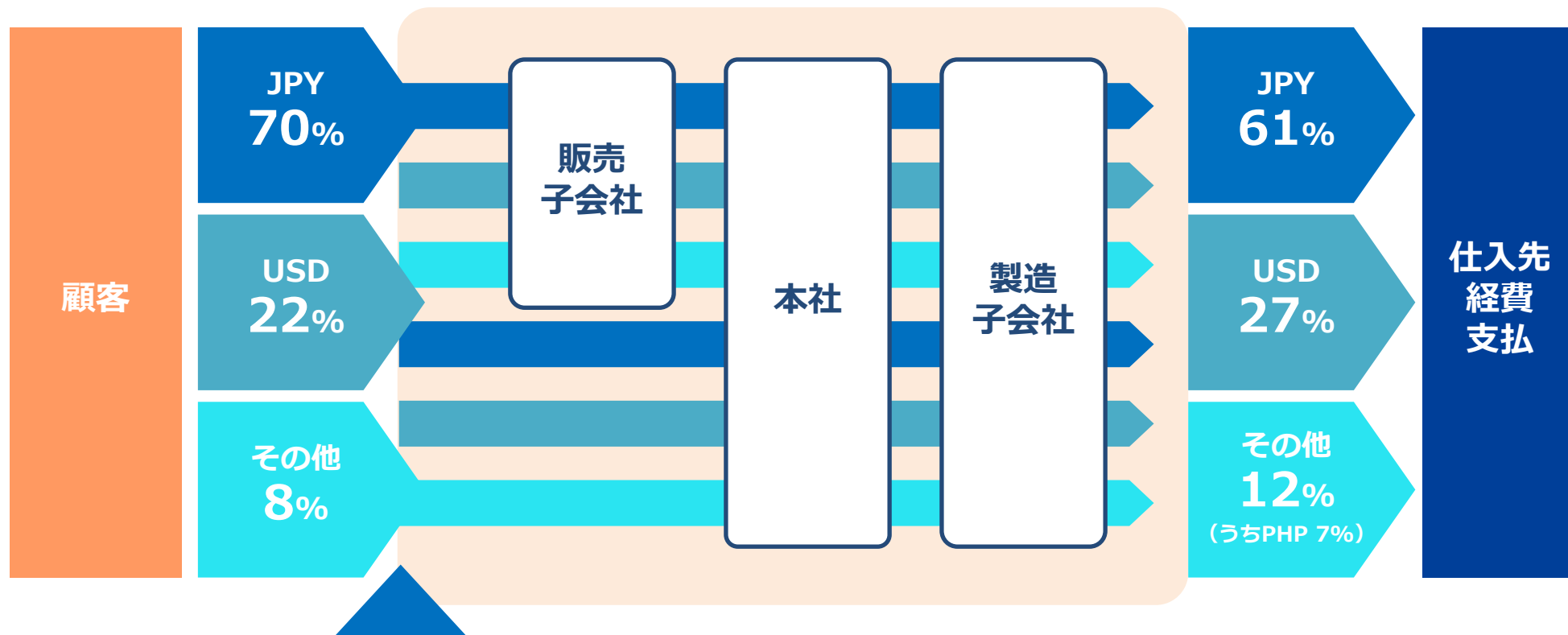


通期進捗率
101.6%
+ 1.6Pt(計画比)



単位 百万円		通 期 標	通 期 績
PAC25	製造原価	174	178
	販管費	14	12
合 計		188	191

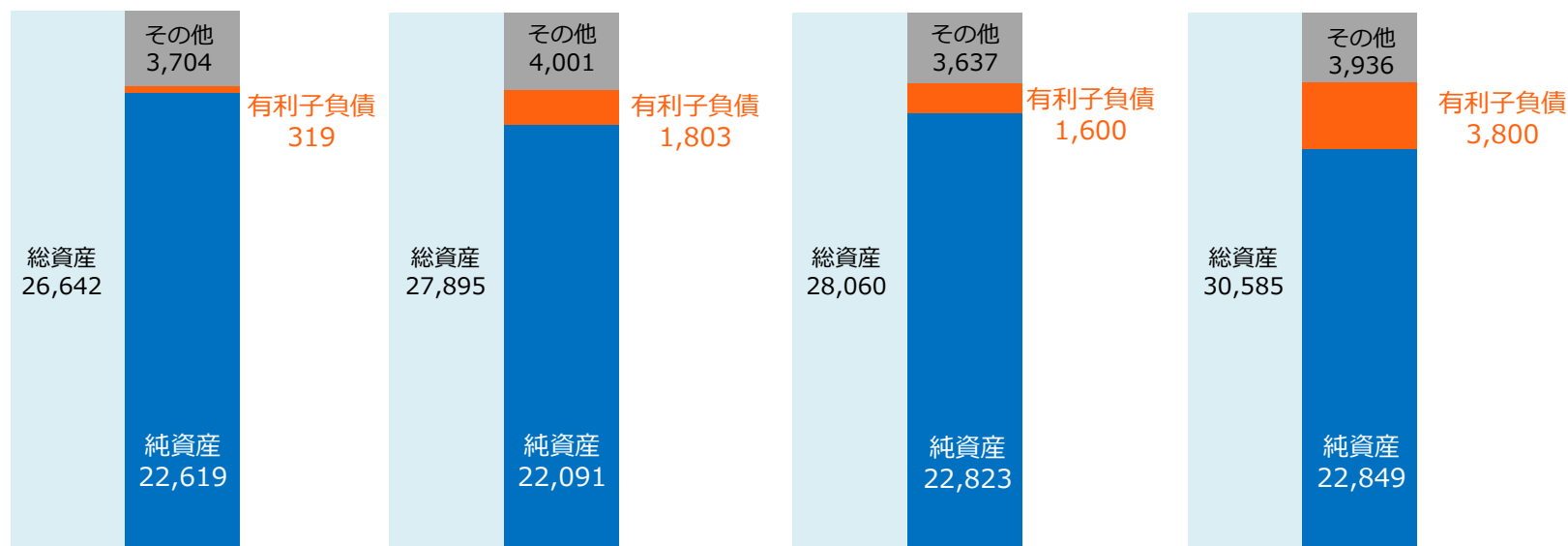
- ◆ 為替感応度は $\Delta 0.2\%$ 、営業利益への影響額は軽微



取引通貨の約7割はJPY

◆ 財務レバレッジ効果によりWACCを改善

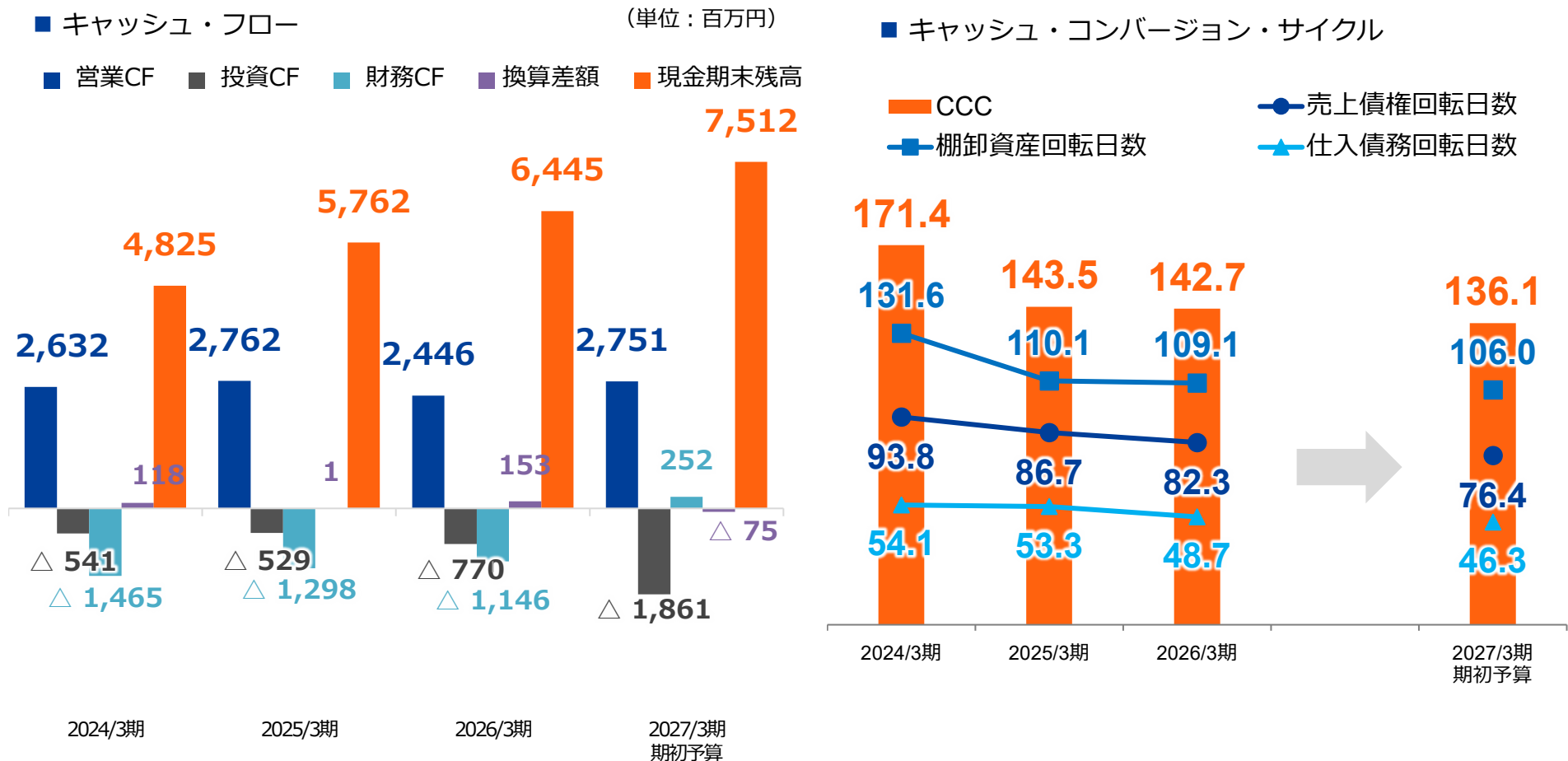
(単位：百万円)



	2025/3期実績	2026/3期中計	2026/3期実績	2027/3期期初予算
自己資本比率	84.9%	79.2%	81.3%	74.7%
財務レバレッジ	1.18	1.26	1.23	1.34
WACC	8.1%	7.9%	7.9%	7.6%

キャッシュ・フローならびにCCCの推移

- ◆ 連結業績改善により潤沢なキャッシュフローを維持
- ◆ サプライチェーンの最適化、在庫水準管理の徹底により資金効率は大幅に改善



	2025/3期 実績	2026/3期 中計	2026/3期 実績	2027/3期 中計	2027/3期 期初予算
総資産 (百万円)	26,642	27,895	28,060	29,931	30,585
自己資本比率	84.9%	79.2%	81.3%	73.2%	74.7%
財務レバレッジ	1.18	1.26	1.23	1.37	1.34
WACC	8.1%	7.9%	7.9%	7.6%	7.6%

2027年3月期見通し（2026/4-2027/3）

株主還元（配当金、DOE、配当性向、総還元性向）

	2025/3期 実績	2026/3期 中計	2026/3期 実績	2027/3期 中計	2027/3期 期初予算
1株当り 年間配当金	12.0円	16.0円	18.0円	24.0円	20.0円
連結配当性向 ^{※1}	49.3%	58.1%	73.1%	72.2%	69.7%
配当利回り ^{※2}	2.1%	1.5%	3.8%	1.6%	2.3%
DOE ^{※3}	3.9%	5.2%	5.5%	7.4%	6.1%
総還元性向 ^{※4}	52.9%	113.5%	150.1%	119.3%	97.5%

※1 連結配当性向 = (配当金総額 ÷ 親会社株主に帰属する当期純利益) × 100

※2 配当利回り = (1株あたり配当金 ÷ 期末日現在の株価) × 100

※3 DOE（株主資本配当率） = (年間配当総額 ÷ 株主資本) × 100

※4 総還元性向 = {(配当金総額 + 株主優待 + 自己株式取得) ÷ 親会社株主に帰属する当期純利益} × 100



この資料に記載されている業績の見通し等将来に関する情報は、現在入手可能な情報に基づいて作成しております
実際の業績は市場動向や業績情勢等の様々な要因等によって異なる可能性があります

この資料に関するお問い合わせは ヤマシンフィルタ株式会社 コーポレートコミュニケーション部IR課 まで

TEL

045-680-1680

E-mail

ir@yamashin-filter.co.jp